

9月までのあの暑さがまるで嘘のように朝晩肌寒いとさえ感じる今日この頃、先生方におかれましては風邪など召されませんようにご自愛ください。

さて、10月7日・8日と神戸市において第40回日本薬剤師会学術大会が催されたことはご承知のとおりです。学校薬剤師部会・学校薬剤師会からも3名の先生方の口頭発表がされましたのでご紹介させていただきます。

### 【7日(日)】

- ・インターネットを利用した「学校環境衛生検査」の記入と集計の試み

寺島 健二

要点：これまで用いてきた手書きの様式をそのまま用いてネット上で記入・送信・印刷できる様にしたもので、一部を改良することで薬剤師会でもよく行われるアンケート等の集計にも利用できる。

- ・学校薬剤師が話す「くすりのお話」 - 改訂版の紹介 -

山口 一丸

要点：学校薬剤師が話す「くすりのお話」第1版の問題点を検討することで改訂版作成のポイントを整理し改良を行った。改良点を発表することで今後の資料作成の参考として頂きたい。

- ・クスリそのものに興味がわく内容
  - ・ビデオ映像の導入
  - ・自分を大切に作る心の育成
- 等を中心に改良を行った。

### 【8日(月)】

- ・小中学校におけるアレルギー性疾患の実態調査について

木全 勝彦

要点：アレルギー疾患の増加は社会的に非常に憂慮される状況となっている。平成18年に行った児童生徒の調査結果においてもアレルギー疾患はもう希な疾患とはいえず、各クラスごとにも各種のアレルギー疾患を抱える子供たちが多くいるということを前提とした学校保健の取組が求められている。環境衛生を含めてよりトータルな学校生活全般での管理体制の見直しが緊急に必要とされている。

### <第5回> アドボケーターって？

アドボケーター…本人に代わって権利などを社会に伝え、政策提言活動などをする人

学校薬剤師の活動は「学校環境衛生検査」の様に位置づけが明文化されているものもありますが「くすりのお話」など従来の型にとらわれない発想の活動もすでに実践され始めています。これからの学校薬剤師活動では“学校の空気を読み取る”、“子どもたちのやる気と元気を自分の肌で五感で感

じる”ことも大事なことです。給食室やトイレ、体育館、校庭、いろいろな教室、屋上など、検査のついでに歩いてみましょう。きっといままでとは違った多くのことに気づくことができると思いますし、子どもたちが学校生活を送る上で重要な、よりトータルな助言ができると思われれます。

< 9月・10月の活動報告 >

9月24日(月)

**学校薬剤師部会・学校薬剤師会合同役員会**

会 場：産業貿易会館地下1F第1会議室

内 容： 1．日本薬剤師会 全国学校薬剤師担当者会議について  
2．平成20年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会について  
3．学校薬剤師講習会について

10月 2日(火)

**愛知県学校保健会役員会**

会 場：愛知県医師会館8F

10月 7日(日)・8日(月)

**日本学校薬剤師会学術大会**

会 場：ポートピアホテル・神戸国際会議場・神戸国際展示場(神戸市)